

U.S. Indicators

発表日: 2019年9月25日(金)

米国 19年9月耐久財受注・資本財受注

～FRBが注視する機械設備投資の下振れを示唆～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

	耐久財受注											
	出荷				受注				在庫			
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機
18/09	+0.7	▲0.1	(+5.9)	+0.0	+1.5	▲0.4	(+5.2)	▲0.4	+0.8	+0.7	+0.9	
18/10	+0.1	+0.5	(+5.8)	+0.7	▲4.4	+0.7	(+5.0)	+1.0	+0.3	+0.2	+0.3	
18/11	+0.9	+0.1	(+4.7)	▲0.3	+0.6	▲0.6	(+4.8)	▲1.2	+0.5	+0.6	+0.5	
18/12	+0.3	+0.2	(+4.3)	▲0.1	+1.1	+0.2	(+3.7)	▲1.6	+0.4	+0.4	+0.6	
19/01	▲0.1	+0.1	(+4.1)	+1.2	+0.5	+0.1	(+4.2)	+1.4	+0.5	+0.3	+0.5	
19/02	+0.0	+0.7	(+4.0)	+0.3	▲2.6	▲0.3	(+2.3)	+0.3	+0.4	+0.0	▲0.0	
19/03	▲0.5	▲0.7	(+3.1)	▲0.6	+1.7	▲0.5	(+1.5)	+0.3	+0.3	+0.4	+0.7	
19/04	▲1.6	▲0.0	(+1.9)	+0.4	▲2.8	▲0.2	(▲0.1)	▲1.1	+0.4	+0.0	+0.1	
19/05	+0.5	+0.3	(+1.9)	+0.4	▲2.3	+0.4	(+0.2)	+0.2	+0.5	▲0.1	+0.1	
19/06	+0.9	+0.1	(+1.6)	▲0.0	+1.8	+0.7	(+0.3)	+0.9	+0.3	▲0.0	+0.2	
19/07	▲1.2	▲0.8	(+0.4)	▲0.7	+2.1	▲0.5	(▲0.3)	+0.0	+0.4	▲0.1	+0.3	
19/08	▲0.1	+0.4	(+0.7)	▲0.0	+0.3	+0.3	(▲0.0)	▲0.6	+0.2	▲0.3	▲0.1	
19/09	▲0.4	+0.0	(+0.8)	▲0.7	▲1.1	▲0.3	(+0.0)	▲0.5	+0.5	+0.0	+0.3	

19年9月の耐久財受注は、加工金属、輸送機器、コンピューター・電子製品関連の減少等により前月比▲1.1%（前月同+0.3%）と減少に転じた。市場予想コンセンサスの同▲0.7%を上回る落ち込み。また、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比▲0.3%（前月同+0.3%）と市場予想コンセンサスの同▲0.2%を小幅下回った。

業種別では、一次金属、一般機械、電気機械関連が増加した一方、加工金属、輸送機器がマイナスに転じたほか、コンピューター・電子製品関連が減少を続けた。規模の最も大きい輸送機器では、軍用航空機が拡大を続けた一方、自動車が増加を続けたうえ、民間航空機が大幅な減少となった。

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、7月に航空機受注が一時的に急増した影響の残存により9月の耐久財受注が+9.5%（前月+2.8%）と勢いを増した。一方、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は+0.8%（前月+2.7%）とプラス幅を縮小、拡大の勢いは弱いままである。

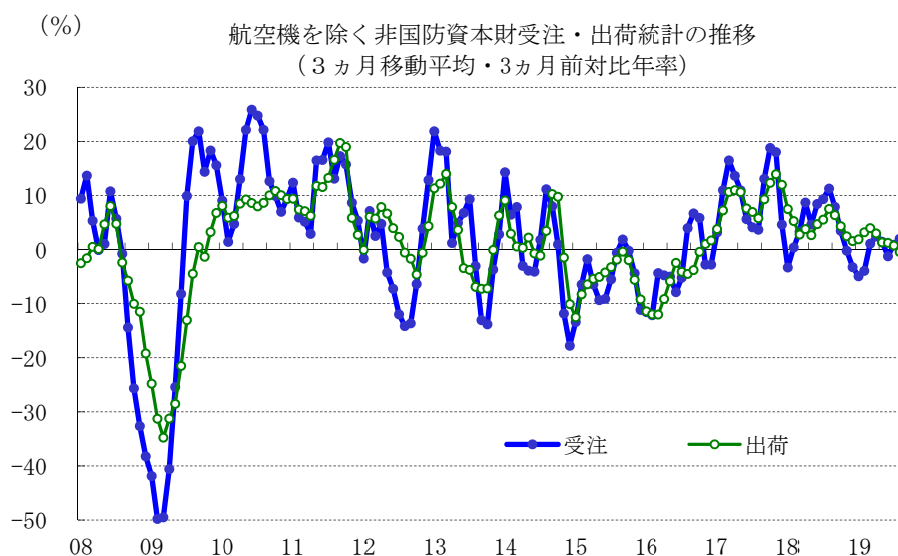
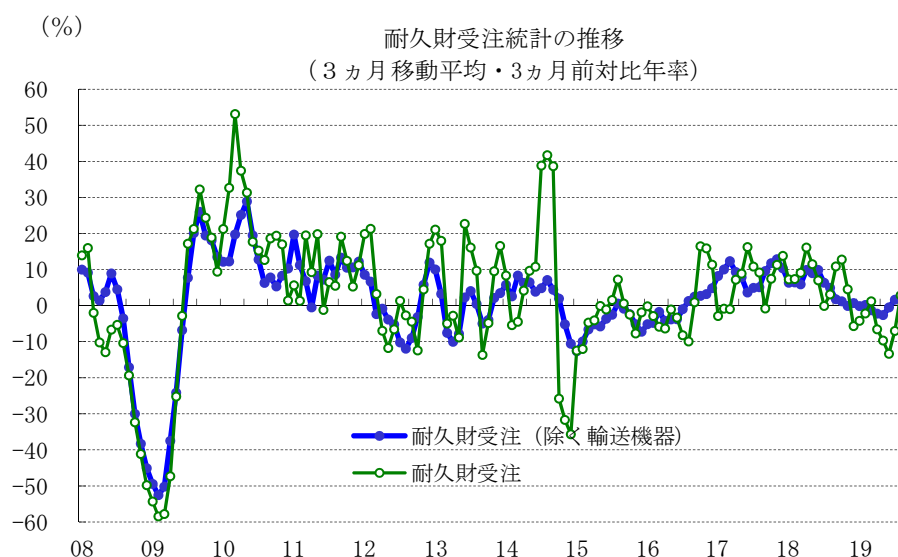
以上のように、耐久財受注は世界経済の減速や米中貿易戦争による不透明感の強まりに加えて、事故による航空機受注の減少等の影響によって、停滞している。

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が9月に前月比▲0.7%（前月同0.0%）と市場予想の同▲0.2%を大幅に上回る落ち込みとなった。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で▲3.3%（前月▲0.4%）とマイナス幅を拡大した。さらに、7-9月期では前期比年率▲3.3%と4-6月期の前期比年率+1.3%から減少したことから、7-9月期の機械設備投資の縮小を示唆している。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、9月に前月比▲0.5%（前月同▲0.6%）と市場予想の同▲0.1%を下回った。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+0.4%（前月+

2.0%)と減速した。また、7-9月期で前期比年率+0.4%（4-6月期前期比年率▲1.2%）と小幅のプラスにとどまっており、10-12月期の機械設備投資の停滞持続を示唆している。

トランプ政権の通商政策に対する不透明感の高まり、世界経済の減速などを受け、19年後半の機械設備投資は減少すると予想される。F R Bが注視している設備投資は、年内停滞を続ける公算が大きい。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。